

カットシートフィーダーで単票複写紙を効率的に印刷 手間がかかる宛名印刷を実現

Case Study 川嶋印刷株式会社

ドットインパクトプリンターVP-F4400NとカットシートフィーダーVPF44CSFとの組み合わせがゆうパックの送り状(単票複写紙)の連続印刷を実現。
手差し印刷の手間を削減し、効率的な印刷業務を可能にします。

地域に密着し多岐にわたる 印刷サービスを提供

川嶋印刷株式会社は、岩手県西磐井郡平泉町に本社を置き、創業以来、地域に根ざした高品質な印刷サービスを提供しています。1911年(明治44年)に創業し、1950年(昭和25年)に法人化されました。印刷を中心とした多岐にわたる事業を実施しており、2020年からは株式会社HIROTSUバイオサイエンスが展開している「N-NOSE」という、線虫が尿中のがんの匂いに反応することを利用したがん検査キットの印刷・発送業務を行っています。2024年からは、閉園となった福禪寺幼稚園を「KOZENJI工場」として活用し、N-NOSEの検査キットの発送業務を行っています。



N-NOSE 検査キット



川嶋印刷株式会社

所在地 岩手県西磐井郡平泉町平泉字佐野原 21

代表 会長：菊地 慶矩氏、社長：菊地 慶高氏

TEL 0191-46-4161

事業内容 各種印刷業務など

N-NOSE 検査キットに同梱する ゆうパックの送り状を印刷

当社が印刷・発送を行っているN-NOSEの検査キットには、採尿カップ、スポット、容器、検体提出袋、手順書、検体提出袋発送用のゆうパックの送り状などがセットされています。以前は、受検者が



川嶋印刷株式会社
KOZENJI 工場 工場長
阿部 さおり 氏

検体を冷凍し、N-NOSE提携薬局へ持ち込む必要がありました
が、現在はチルド発送が可能となりました。そのため、受検者は
検体を保冷用の検体提出袋に同梱し、ゆうパックで送付する方式
へと変更されました。

当社では、これまで手順書やキットのラベル印刷を行っていましたが、新たに検体発送用のゆうパックの送り状の宛名印刷も請け負うことになりました。ゆうパックの送り状には元払いと着払いの2種類があり、元払い伝票は単票用紙、着払い伝票は連続用紙となります。印刷部数は月間6,000～7,000部に及びます。この新たな業務に対応するため、当社ではドットインパクトプリンターが必要となり、エプソンのVP-F4400Nを導入することになりました。



カットシートフィーダーの採用で単票複写紙の連続印刷を実現



手差しの手間がなく業務の効率化をサポート



検証用機材貸出サービスで事前に動作を確認

カットシートフィーダーで手間のかからない単票複写紙の連続印刷

導入にあたり、N-NOSEを運用しているHIROTSU バイオサイエンス様と細かな調整を行い、最終的にエプソンのVP-F4400Nを選定しました。印刷品質や印刷スピード、そして運用面での利便性など、総合的に判断しました。

特に重要だったのは、VP-F4400Nがカットシートフィーダーに対応している点でした。カットシートフィーダーはプリンターに単票用紙を自動供給する装置で、手動で紙を1枚ずつセットする手間を省いてくれます。1日に300～900部を印刷するため、作業負担を軽減するカットシートフィーダーは必要不可欠でした。元払い伝票は単票用紙のため、そのままカットシートフィーダーを使用して印刷します。一方、連続用紙である着払い伝票は、事前に自社の断裁機で単票用紙にカットしてから印刷することになりました。これは、連続用紙のまま印刷すると、後から1枚ずつ切り分ける手間が発生するためであり、あらかじめ断裁することで作業の効率化を図りました。

そして、VP-F4400N導入の決め手となったのは、エプソンの「検証用機材貸出サービス」でした。このサービスを利用することで、カットシートフィーダーを用いた単票複写紙の印刷のスムーズさや操作性を事前に確認でき、導入の判断を安心して下すことができました。



ゆうパックの送り状は縦向きにして、1回に30部セットし印刷を行う。

※Microsoft®Wordは、横長の用紙サイズを設定すると正常に印刷されない場合があることが報告されています。この事例は、縦長の単票紙への印刷事例となっています。横長の連続紙の場合、用紙の向きを変えることができないため、正常に印刷されない場合がありますので、ご注意ください。※「ゆうパック」は、日本郵便株式会社の宅配サービスです。「ゆうパック」は、日本郵便株式会社の登録商標です。※その他、本媒体上の他社商標の帰属先は、エプソンのホームページをご確認ください。



カットシートフィーダー VPF440CSF がセットされた
ドットインパクトプリンター VP-F4400N。

横のり綴じの複写用紙は縦にして カットシートフィーダーを活用

印刷ソフトは Microsoft®Word を使用しています。ゆうパックの送り状は横のり綴じ仕様のため、カットシートフィーダーを利用する際は、のり綴じ部分が下面になるように90度回転させた状態でセットします。同様に Microsoft®Word のテキストデータも90度回転して印刷しています。横のり綴じの状態でカットシートフィーダーが使えないことは、マニュアルを見ればすぐに分かりましたが、テキストデータを90度回転させなくても、プリンタードライバーの印刷の向きを「横」に設定すればできることは、後になって知りました。Microsoft®Word でも90度回転したデータは作成できるので、テキスト位置を微調整して運用しています。1回のセットで30部の印刷が可能で、約5分で完了します。手差しの必要がないため、印刷中にも別の作業ができ、効率的に業務が行えます。しかも、正確かつ美しい印刷なので、印刷品質の面でも満足しています。

今回導入したVP-F4400Nは、宛名印刷専用機として活用しています。今後、印刷部数の増加も見込まれるため、VP-F4400Nの高精度かつ効率的な印刷性能を活かし、さらなる業務の効率化を進めていきたいと考えています。

製品に関するお問い合わせ

エプソンインフォメーションセンター

050-3155-8088

受付時間 月～金曜日（祝日・当社指定休日を除く。詳しくはホームページをご覧ください。）

上記電話番号はKDDI株式会社の電話サービスを利用しています。

エプソンのホームページはこちら

epson.jp

エプソン販売株式会社